

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：3 単位  
 対象学年組：第1学年 1組～ 組  
 教科担当者：（1組：富田薫）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）  
 使用教科書：（新編 言語文化（大修館書店））

- 教科 国語 の目標：  
 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。  
 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、伝え合う力を高める。  
 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書き言葉話し言葉を正しく理解し身につけ、伝え合う力を高めることよって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしており、言葉に親しむことで自己を向上させ言語文化の担い手としての自覚をもって言葉を効果的に使おうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学期	A 単元「言葉の森を育てよう」 【知識及び技能】 日常使っている言葉を見つめ直し、正しく修正する。 【思考力、判断力、表現力等】 言葉が果たしている役割の違いを見抜く。【学びに向かう力、人間性等】 よりよい伝え方について考える。	・指導事項 エッセイを読む 日本で受け継がれてきた自然観や美意識について、筆者の主張をとらえる。 ・教材 教科書、国語便覧、プリント ・一人1台端末の活用 等	○		○	【知識・技能】 ・定期テスト 【思考・判断・表現】 ・定期テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント	○	○	○	8
	B 単元「日本語の豊かさ再発見」 【知識及び技能】 日常使っている言葉を見つめ直し、正しく修正する。 【思考力、判断力、表現力等】 言葉が果たしている役割の違いを見抜く。【学びに向かう力、人間性等】 よりよい伝え方について考える。	・指導事項 エッセイを読む 季語に興味をもつとともに、日本独特の自然の味わい方について、自分の考えを深める。 ・教材 教科書、国語便覧、プリント ・一人1台端末の活用 等	○		○	【知識・技能】 ・定期テスト 【思考・判断・表現】 ・定期テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント	○	○	○	12
	定期考査						○	○		1
	C 単元 古典への招待 【知識及び技能】 古文の読み方を知る。【思考力、判断力、表現力等】 古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解する。【学びに向かう力、人間性等】 古典と現代の言葉のつながりから心を理解する。	・指導事項 古文のなりたち、仮名、発音について学ぶ ・教材 教科書、国語便覧、プリント ・一人1台端末の活用 等	○		○	【知識・技能】 ・定期テスト 【思考・判断・表現】 ・定期テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント	○	○	○	12
	D 単元 古典を知る 【知識及び技能】 古語の意味や背景を知る。【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方を捉え、内容を理解する。【学びに向かう力、人間性等】 時代を問わない人の心を知る。	・指導事項 エッセイを読む ・教材 教科書、国語便覧、プリント ・一人1台端末の活用 等			○	【知識・技能】 ・定期テスト 【思考・判断・表現】 ・定期テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント	○	○	○	11
定期考査						○	○		1	
2 学期	E 単元「文化を見つめる」 【知識及び技能】 身の回りの言葉と現象の関係を見つめ、言語と結びつける。【思考力、判断力、表現力等】 文化の歴史と役割を考える。【学びに向かう力、人間性等】 自分が守りたい文化を考える。	・指導事項 エッセイを読むことで、我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深める。 ・教材 教科書、国語便覧、プリント ・一人1台端末の活用 等	○		○	【知識・技能】 ・定期テスト 【思考・判断・表現】 ・定期テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント		1		22
	F 単元 物語を受け継ぐ 【知識及び技能】 語句の意味や時代等の背景を学ぶ。【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の気持ちを理解する。【学びに向かう力、人間性等】 他者の気持ちを推察して寄り添う。	・指導事項 小説を読む 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、自己と比較して振り返る。 ・教材 教科書、国語便覧、プリント ・一人1台端末の活用 等			○	【知識・技能】 ・定期テスト 【思考・判断・表現】 ・定期テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント	○	○	○	21
定期考査						○	○		1	
3 学期	G 単元「旅への思い」 【知識及び技能】 日常使っている言葉を見つめ直し、正しく修正する。 【思考力、判断力、表現力等】 言葉が果たしている役割の違いを見抜く。【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 エッセイを読むことで文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について理解を深める。 ・教材 教科書、国語便覧、プリント ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識・技能】 ・定期テスト 【思考・判断・表現】 ・定期テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント				27
	定期考査					○	○		1	
									合計	117

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科： 数学 科目： 数学 I 単位数： 2 単位  
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 組  
 教科担当者： （1組： 栗原）  
 使用教科書： （ 数 I 708 「高校数学 I」 実教出版 ）

教科 数学 の目標： 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I の目標： 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、2次関数、三角比、集合と論証、及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 章 数と式 1 節 整式 1. 文字を含んだ式のきまり 2. 整式 3. 整式の加法・減法 4. 整式の乗法 5. 乗法公式による展開 6. 因数分解 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 ・式の見方を豊かにするとともに、整式の加法・減法・乗法、および因数分解について理解を深め、公式などを利用して式の展開や因数分解を能率よく計算できるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 ・教科書p.12～17は中学校の復習であるが、用語「整式」「項べきの順」は高校で学ぶ。 ・教科書p.23「やってみよう」の式は、数学IIで学ぶ。	【知識・技能】 ・単項式と多項式について理解できる。 ・乗法公式や因数分解の公式の理解を深めることができる。 ・式の展開や因数分解を、公式を利用して処理することができる。 （発問評価・課題提出・定期考査） 【思考・判断・表現】 ・同類項をまとめることや、かっこを外すことを利用して、整式の加法・減法を考察できる。 ・特定の文字に着目したり、式を1つの文字で置き換えたりして、式を多面的に捉えることができる。 ・式の展開と因数分解の相互の関係がわかる。 （発問評価・課題提出・定期考査） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・式の展開や因数分解に関心をもち、目的に応じて式を変形しようとしている。 ・数の計算に乗法公式や因数分解の公式が利用できることに関心をもち、その計算に公式を利用しようとしている。 （授業態度・課題提出）	○	○	○	15
定期考査			○	○		1
2 節 実数 1. 平方根とその計算 2. 実数 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 ・数を実数まで拡張することの意義を理解し、実数の概念や平方根を含む計算の基本的な考え方について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・分数が有限小数や循環小数で表される仕組みを理解する。	1	【知識・技能】 ・数を実数まで拡張することの意義を理解している。 ・ $\sqrt{\quad}$ を含む式の四則計算ができる。 ・分母の有理化ができる。 ・いろいろな数を、自然数、整数、有理数、無理数で分類することができる。 （発問評価・課題提出・定期考査） 【思考・判断・表現】 ・分数が、有限小数や循環小数で表される仕組みを考察することができる。 ・分母を有理化する意義がわかる。 ・循環小数を分数で表すことを考察できる。 ・数を拡張してきた過程や数の四則計算の可能性について考察できる。 （発問評価・課題提出・定期考査） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ $\sqrt{\quad}$ を含む式の計算に関心をもち、いろいろな計算に積極的に取り組もうとしている。 ・数の体系を実数まで拡張する意義に気付くとともに、数を拡張していく過程に関心をもち、調べようとしている。 （授業態度・課題提出）	○	○	○	15
定期考査			○	○		1







高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 公民 科目 公共

教科：公民 科目：公共 単位数：2 単位  
 対象学年組：第1学年 1組～ 組  
 教科担当者：（1組：山口聖未）  
 使用教科書：（教育図書 公共702）

教科 公民 の目標：  
 【知識及び技能】選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、および現代世界の諸課題について基礎的な知識を身に付ける。  
 【思考力、判断力、表現力等】多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断する力や、議論する力を身に付ける。  
 【学びに向かう力、人間性等】人間としての在り方や生き方についての自覚や、公民としての資質・能力を育成する。

科目 公共 の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人類が近代以降に獲得してきた自由権をはじめとした様々な権利や、哲学、倫理的な基礎知識を習得する。政治、法律、経済についての基礎知識を身に付け、主体的に生きる力の基盤を形成する。	公共に関する様々な事象について主体的に考察し、自らの考えを表現する力を育成する。他者との対話を通して、自らの考えを深め、よりよい判断が出来る力を育成する。	現実社会の諸課題を、より民主的社会的創造を視野に入れて主体的に解決する力を育む。	

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	A 公共の扉 【知識及び技能】 公共的空間の主体として、社会の形成の結び付きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や他者の経験や意見を踏まえて、公共的空間がどのように構成されているのか考え、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、公共的空間に生きる人間としてのあり方生き方について自覚を深めている。	(1)公共と人 ・人は1人では生きられない(公共的空間) ・人はどのようにつながるのか(交換によるつながり) ・自由と正義の実現を目指して(自由主義と正義論) ・対話から生まれる公共(市民的公共圏の成立) ・宗教と人間(三大宗教)	【知識・技能】 ・公共と人について、基礎的な知識を身に付け、資料を適切に読み取ることができているか。 【思考・判断・表現】 ・自己や他者の経験や意見を踏まえて、公共的空間がどのように構成されているのか考え、文章や図などで表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的な授業参加、学習の振り返り、探究しようとする姿勢。	○	○	○	8
	定期考査		○	○		1	
	A 公共の扉 【知識及び技能】 公共を倫理的視点から捉え、結び付きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や他者の経験や意見を基に、功利主義と義務論を踏まえて思考し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 倫理的な視点を踏まえて主体的に学ぶ姿勢を育む。	(2)公共と倫理 ・功利主義と義務論(ベンサム、カント、ミル) ・地球温暖化問題(地球温暖化の原因と異常気象、パリ協定と主要国の二酸化炭素排出量、日本の発電の特徴と地球温暖化に対する考察)	【知識・技能】 ・公共と倫理について、基礎的な知識を身に付け、資料を適切に読み取ることができているか。 【思考・判断・表現】 ・自己や他者の経験や意見を基に、功利主義と義務論を踏まえて考え、文章や図などで表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的な授業参加、学習の振り返り、探究しようとする姿勢。	○	○	○	10
公共の扉 【知識及び技能】 意思決定の方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や他者の経験や意見を基に、意思決定の過程を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な例を踏まえて主体的に学ぶ姿勢を育む。	(3)公共の基本原則 ・生徒会予算をどう分配するか ・意見が分かれた時どう決めるか ・意思決定の方法について考える	【知識・技能】 ・意思決定の方法について、基礎的な知識を身に付け、資料を適切に読み取ることができているか。 【思考・判断・表現】 ・自己や他者の経験や意見を基に、事例を考え、文章や図などで表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的な授業参加、学習の振り返り、探究しようとする姿勢。	○	○	○	11	
定期考査			○	○		1	

2 学 期	<p>民主主義の歴史</p> <p>【知識及び技能】 憲法や民主主義に関する基礎知識を習得する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己や他者の経験や意見を基に、考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身近な例を踏まえて主体的に学ぶ姿勢を育む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権の成立に至る過程を捉える(社会契約説・市民革命)</li> <li>・日本国憲法の3原則、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義</li> <li>・大日本帝国憲法との違い</li> <li>・表現の自由とヘイトスピーチ</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・憲法や民主主義について、基礎的な知識を身に付け、資料を適切に読み取ることができているか。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己や他者の経験や意見を基に、事例を考え、文章や図などで表現する。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的な授業参加、学習の振り返り、探究しようとする姿勢。</li> </ul>	○	○	○	9
	<p>法と社会</p> <p>【知識及び技能】 法に関する基礎知識を習得する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己や他者の経験や意見を基に、考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身近な例を踏まえて主体的に学ぶ姿勢を育む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マナー、ルール、法律の違い</li> <li>・様々な契約</li> <li>・著作権に関する法律</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法について、基礎的な知識を身に付け、資料を適切に読み取ることができているか。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己や他者の経験や意見を基に、事例を考え、文章や図などで表現する。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的な授業参加、学習の振り返り、探究しようとする姿勢。</li> </ul>	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	<p>日本の司法制度</p> <p>【知識及び技能】 日本の司法制度に関する基礎知識を習得する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己や他者の経験や意見を基に、考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身近な例を踏まえて主体的に学ぶ姿勢を育む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・裁判官の在任中の身分保障と独立</li> <li>・三権分立</li> <li>・国民の司法参加</li> <li>・裁判員制度</li> <li>・少年法</li> <li>・刑事裁判と民事裁判</li> <li>・刑罰の目的</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・司法制度について、基礎的な知識を身に付け、資料を適切に読み取ることができているか。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己や他者の経験や意見を基に、事例を考え、文章や図などで表現する。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的な授業参加、学習の振り返り、探究しようとする姿勢。</li> </ul>	○	○	○	8
定期考査			○	○		1	
3 学 期	<p>民主主義と選挙制度</p> <p>【知識及び技能】 日本の選挙制度に関する基礎知識を習得する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己や他者の経験や意見を基に、考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身近な例を踏まえて主体的に学ぶ姿勢を育む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民主主義とは</li> <li>・衆議院選挙と参議院選挙</li> <li>・一票の格差</li> <li>・公職選挙法と選挙運動</li> <li>・世論調査</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選挙制度について、基礎的な知識を身に付け、資料を適切に読み取ることができているか。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己や他者の経験や意見を基に、事例を考え、文章や図などで表現する。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的な授業参加、学習の振り返り、探究しようとする姿勢。</li> </ul>	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
							合計
							78

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位  
 対象学年組：第1学年 1組～ 組  
 教科担当者：（1組：中村 内田）  
 使用教科書：（現代高等保健体育 大修館書店）

- 教科 保健体育 の目標：  
 【知識及び技能】 運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。  
 【思考力、判断力、表現力等】 実生活に生かす運動の計画では、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むことができるようにする。  
 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各種目の歴史やルールを知り、簡単な動きから複雑な動きを習得できるようにする。其々の運動種目の体の動きの着目し、より効果的かつ合理的な体の使い方ができるようにする。	体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と主体的に関わり合うことができるようにする。	運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付け、自己のペースで成長すること。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。	体づくり運動 球技 サッカー テニス	【知識・技能】 ・自己のねらいに応じて、効果的な成果を得動の行い方があることについて、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切に、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	16
	・体力や運動の能力など程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付け、自己のペースで成長すること。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。	体づくり運動 球技 バドミントン バレーボール	【知識・技能】 ・自己のねらいに応じて、効果的な成果を得動の行い方があることについて、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切に、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	16
2 学期	・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付け、自己のペースで成長すること。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。	体づくり運動 球技 バドミントン・テニス バスケットボール	【知識・技能】 ・自己のねらいに応じて、効果的な成果を得動の行い方があることについて、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切に、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	16
	・体力や運動の能力など程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付け、自己のペースで成長すること。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。	体づくり運動 球技 ソフトボール 卓球	【知識・技能】 ・自己のねらいに応じて、効果的な成果を得動の行い方があることについて、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切に、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	16
3 学期	・体力や運動の能力など程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付け、自己のペースで成長すること。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。	体づくり運動 持久走 球技 卓球	【知識・技能】 ・自己のねらいに応じて、効果的な成果を得動の行い方があることについて、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切に、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	14
							合計
							78

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 1組

教科担当者：（1組：内田）

使用教科書：（現代高等保健体育 大修館書店）

教科 保健体育

目標：  
 【知識及び技能】 運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 実生活に生かす運動の計画では、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むことができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。

科目 保健 目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実生活における健康の増進を図るための必要な知識を身に付ける。救急措置法などを知る事で実生活に生かせるようにする。運動種目の体の動きに着目し、より効果的かつ合理的な体の使い方を考えられるようにする。	身体的・精神的・社会的な健康の条件について理解し自身の生活や健康を向上できるように生活習慣を含め考える。個人の健康を守るための社会的な要件を考え、行動できる知恵を考え実践するための工夫をする。	主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合うことと、一人一人の違いに応じた考えなどを大切にしようということ、合意形成に貢献しようということや健康・安全を確保することができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 感			配当 時数
				知	思	感	
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 基本的な健康の条件を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 生活習慣維持することや体力向上を向上させるための生活について考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 実生活における行動変容を促す。	・健康の考え方 ・健康の増進とその予防	【知識・技能】 ・ねらいに応じて、必要な知識と知恵を理解して、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・年齢や体力の程度や性別等の違いを理解し、人生を豊かに生活するための知識と知恵を学習している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた体の機能を知り、健康を保持増進し実生活に生かせるように考え学習している。	○	○	○	2
	B 単元 【知識及び技能】 基本的な健康の条件を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 生活習慣維持することや体力向上を向上させるための生活について考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 実生活における行動変容を促す。	・現代の感染症とその予防	【知識・技能】 ・ねらいに応じて、必要な知識と知恵を理解して、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・年齢や体力の程度や性別等の違いを理解し、人生を豊かに生活するための知識と知恵を学習している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた体の機能を知り、健康を保持増進し実生活に生かせるように考え学習している。	○	○	○	3
	C 単元 【知識及び技能】 現代における様々な健康課題について知る。 【思考力、判断力、表現力等】 年齢や体力の程度や性別等の違いを理解し人生を豊かにする方法を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 一人一人の違いを理解し、違いに応じた体の機能を知り、実生活に活かせるようにする。	・現代社会と健康	【知識・技能】 ・ねらいに応じて必要な知識と知恵を理解して、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・年齢や体力の程度や性別等の違いを理解し、人生を豊かに生活するための知識と知恵を学習している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた体の機能を知り、健康を保持増進し実生活に生かせるように考え学習している。	○	○	○	5
	D 単元 【知識及び技能】 現代における精神疾患やその対処法を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 社会に適應する術を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 実生活における行動変容を促す。	・精神の健康 ・ストレスや精神疾患とその予防	【知識・技能】 ・ねらいに応じて、必要な知識と知恵を理解して、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・年齢や体力の程度や性別等の違いを理解し、人生を豊かに生活するための知識と知恵を学習している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた体の機能を知り、健康を保持増進し実生活に生かせるように考え学習している。	○	○	○	5
定期考査			○	○	○	1	
2 学 期	C 単元 【知識及び技能】 現代における様々な健康課題について知る。 【思考力、判断力、表現力等】 年齢や体力の程度や性別等の違いを理解し人生を豊かにする方法を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 一人一人の違いに応じた体の機能を知り、健康を保持増進し実生活に生かす。	・現代社会と健康	【知識・技能】 ・ねらいに応じて必要な知識と知恵を理解して、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・年齢や体力の程度や性別等の違いを理解し、人生を豊かに生活するための知識と知恵を学習している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた体の機能を知り、健康を保持増進し実生活に生かせるように考え学習している。	○	○	○	8
	E 単元 【知識及び技能】 実生活における危険なシチュエーションを学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 事故を防ぐ方法を、それぞれの体験談などを交えて学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 応急処置の基本を知り校内外を問わず実践できるよう学ぶ。	・交通安全・応急手当	【知識・技能】 ・ねらいに応じて必要な知識と知恵を理解して、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・年齢や体力の程度や性別等の違いを理解し、人生を豊かに生活するための知識と知恵を学習している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた体の機能を知り、健康を保持増進し実生活に生かせるように考え学習している。	○	○	○	8
3 学 期	F 単元 【知識及び技能】 各世代ごとの体の変化を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 生活習慣の問題点を明らかにし、自身の生活に必要な行動を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 生活習慣の問題点を明らかにし、自身の生活に必要な行動変容を促す。	・生涯を通じての健康	【知識・技能】 ・ねらいに応じて必要な知識と知恵を理解して、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・年齢や体力の程度や性別等の違いを理解し、人生を豊かに生活するための知識と知恵を学習している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた体の機能を知り、健康を保持増進し実生活に生かせるように考え学習している。	○	○	○	3
	G 単元 【知識及び技能】 各世代ごとの体の変化を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 生活習慣の問題点を明らかにし、自身の生活に必要な行動を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 生活習慣の問題点を明らかにし、自身の生活に必要な行動変容を促す。	・生涯の各世代における健康	【知識・技能】 ・ねらいに応じて必要な知識と知恵を理解して、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・年齢や体力の程度や性別等の違いを理解し、人生を豊かに生活するための知識と知恵を学習している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた体の機能を知り、健康を保持増進し実生活に生かせるように考え学習している。	○	○	○	3 合計 39



年間授業計画 新様式例									
高等学校 令和6年度（1学年用） 教科					情報		科目 情報 I		
教科： 情報		科目： 情報 I		単位数： 2		単位			
対象学年組： 第 1 学年 1 組～		組							
教科担当： （ 1 組： 鈴木勝雄 ）									
使用教科書： （ 新編 情報 I （東京書籍） ）									
教科 情報		の目標：							
【知識及び技能】		コンピュータの活用について理解し、リテラシーを身につけているとともに、情報社会について理解している。効果的なコミュニケーション、データの分析や活用、プログラミングについて理解している。							
【思考力、判断力、表現力等】		コンピュータを用いた効果的な情報伝達、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切に用い、様々な情報を取捨選択できるスキルを持つ。							
【学びに向かう力、人間性等】		情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。							
科目 情報 I		の目標：							
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】					
コンピュータの活用について理解し、リテラシーを身につけているとともに、情報社会について理解している。効果的なコミュニケーション、データの分析や活用、プログラミングについて理解している。		コンピュータを用いた効果的な情報伝達、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切に用い、様々な情報を取捨選択できるスキルを持つ。		情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。					
単元の具体的な指導目標		指導項目・内容		評価規準		知	思	態	配当 時数
単元 情報で問題を解決する。 <b>【知識及び技能】</b> 情報やメディアの特性を理解し、問題解決のプロセスを理解している。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 適切な表現メディアを判断することができ、問題解決のプロセスを適切に判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報やメディアの特性を理解しようとしている。		<b>・指導事項</b> 情報とメディアの特性、情報解決の流れ、発想法、情報モラル、個人情報流出、傷つけない傷つかないために、著作権、情報技術の発展、情報化と私たちの生活の変化、より良い情報社会へ <b>・教材 教科書</b> <b>・一人 1 台端末の活用</b>		<b>【知識・技能】</b> メディアの特性を理解し、情報をデジタル化して扱う利点と欠点を理解している。問題解決のプロセスに、情報技術の効果的な活用方法を知っている。 <b>【思考・判断・表現】</b> 情報伝達に対して、適切な表現メディアを選択することができる。身近な問題について、問題解決のプロセスを踏みながら、次の問題解決に生かす方法を考えることができる。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 適切なメディアを選ぼうとしている。身近な問題について、情報をどのように活用したらよいか考えようとしている。		○	○	○	12
単元 情報を伝える <b>【知識及び技能】</b> ネットコミュニケーションの特徴を理解している。数値、音、画像、色、動画のデジタル化の方法を理解している。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 状況に応じて適切なメディアを選択することができ、情報のデジタル化の利点を考えることができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ネットコミュニケーションの特性を理解してメディアを活用しようとしている。情報のデジタル化の関係性について考えようとしている。		<b>・指導事項</b> コミュニケーション手段の変化、ネットコミュニケーションの特徴、デジタルの世界へ、数値と文字デジタル表現、音と画像のデジタル表現、目的に応じたデジタル化、情報デザイン、ユニバーサルデザイン、情報デザインの流れ <b>・教材 教科書</b> <b>・一人 1 台端末の活用</b>		<b>【知識・技能】</b> ネットコミュニケーションの特徴について仕組みを含めて詳しく理解し、デジタル化の方法を科学的に深く理解している。 <b>【思考・判断・表現】</b> 状況に応じて適切なメディアを選択することができる。様々なものをコンピュータで表現し、その違いについて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ネットコミュニケーションの特性として、メリットデメリットや技術的な仕組みを理解してメディアを活用しようとしている。コンピュータでデジタル化する方法に興味を持ち、科学的に理解しようとしている。		○	○	○	12
単元 コンピュータを活用する <b>【知識及び技能】</b> コンピュータの仕組みやソフトウェア、論理回路を理解している。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> プログラミング、論理回路、アルゴリズムを表現することができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> プログラミング、論理回路、アルゴリズムをしようとしている。		<b>・指導事項</b> コンピュータとは何か、ソフトウェアの仕組み、演算の仕組みとコンピュータの限界、アルゴリズムの表現、プログラムの基本構造、発展的なプログラム、モデル化とシュミレーション、シュミレーションの活用 <b>・教材 教科書</b> <b>・一人 1 台端末の活用</b>		<b>【知識・技能】</b> プログラム、論理回路、アルゴリズムを理解し、それぞれの技能を身につけている。 <b>【思考・判断・表現】</b> プログラム、論理回路、問題解決の手順を考えて、効率のよい表現することができる。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> プログラム、論理回路、効率のよいアルゴリズムを考えようとしている。		○	○	○	13
単元 データを活用する 【知識及び		<b>・指導事項</b> ネットワークとイン		<b>【知識・技能】</b> データベースがどのように活					

期	<p><b>【技能】</b> データの形式について理解し、どのように活用されているか理解する。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> データの性質を適切に判断してアンケートなどに表現することができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 身近にあるデータに興味を持とうとしている。蓄積したデータを活用しようとしている。</p>	<p>ターネット、インターネットの仕組み、サーバーとクライアント、インターネット上のサービス、情報セキュリティ、データの形式、データベースの活用、様々なデータモデル、データ分析の流れ、目的に合わせたデータ利用 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用</p>	<p>用されているか、仕組みについても深く理解し、収集して可視化するさまざまな技能を身につけている。<b>【思考・判断・表現】</b> データを多角的に分析して表現することができる。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 問題解決のために、データを収集し、分析し、結果を表現し、その過程を振り返り、次の問題解決に生かそうようとしている。</p>	○	○	○	13
3 学 期	<p>D 単元 活動して提案する <b>【知識及び技能】</b> 文書処理、表計算、プレゼンテーションソフトウェアを活用する技能を身につけている。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 情報を相手にとってわかりやすく表現することができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 作成した作品を見せ合い、相互評価しようとしている。</p>	<p>・指導事項 アイディアの大量生産、検索のコツ、職業人インタビュー、つくろうマイルール、言葉で図形を伝達、色の三原色を伝達、光の三原色を体験、データ量の見積、ピクトグラム、図解表現、Webニュースページ、映像制作、気まぐれA I、お知らせセンサ、プログラムで動きを再現、シュミレーション、Myお天気キャスター、パケット通信の体験、データの分析、コンビニデータベース、クラスの実態調査 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用</p>	<p><b>【知識・技能】</b> 文書処理、表計算、プレゼンテーションソフトウェアを活用し、短時間で効果的に活用する技能がある。 <b>【思考・判断・表現】</b> 情報デザインを意識しながら文書作成や表計算、プレゼンテーションソフトウェアで表現することができる。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 作成した文書、ワークシート、スライドを他者と見せ合って相互評価をし、改善方法について考えようとしている。</p>	○	○	○	16

高等学校 令和6年度 教科

総合 科目 総合的な探究の時間

教科：総合 科目：総合的な探究の時間

単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 1組

教科担当者：(1組：富田・増田・内田・栗原)

使用教科書：(「人間と社会」人間としての在り方に関する教科書)

教科 総合 の目標：

【知識及び技能】よりよい人間関係を築くこと

【思考力、判断力、表現力等】学びの蓄積と経験の積み重ねと言葉による表現を身につける

【学びに向かう力、人間性等】現実社会の仕組み、環境及び世界的視野の女性

科目 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
よりよく前向きに生きられるような精神を育てる	学びの蓄積と経験の積み重ねと言葉による表現を身につける	現実社会の仕組み、環境及び世界的視野の女性

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
序章 人間と社会～学習の視点 よりよく前向きに生きるために	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 強く生き抜く精神づくり 【思考・判断・表現】 学びの蓄積と経験の積み重ねと言葉による表現を身につける 【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の仕組み、環境及び世界的視野の女性	○	○	○	2
第1章 生きることの意義 他者との関係など						
第2章 学ぶことの意義 賢く生きるには	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 頭を活性化させる方法 【思考・判断・表現】 学びの蓄積と経験の積み重ねと日々のよりよい習慣を身につける 【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の仕組み、働き方のいろいろとキャリアプラン	○	○	○	3
第3章 働くことの意義 経済的・社会的自立に向けて 自己満足・自己達成感・自己実現						
1学期 定期考査			○	○		1
第4章 役割とマナー 家族関係・社会関係	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 よりよい人間関係を築くこと 【思考・判断・表現】 学びの蓄積と経験の積み重ねと言葉による表現を身につける 【主体的に学習に取り組む態度】 社会生活に学びを取り入れた	○	○	○	8
第5章 マナーとルール 自由と公共・社会規範						
第6章 言語コミュニケーション・非言語 コミュニケーション	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 コミュニケーション力を身につけよりよい人間関係を築くこと 【思考・判断・表現】 学びの蓄積と経験の積み重ねと言葉による表現を身につける 【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会に役立つ言葉、世界的コミュニケーションを学ぶ	○	○	○	3
第7章 選択し行動する 自立的思考と行動						
定期考査			○	○		1
2学期 第8章 チームを動かす力 リーダーシップとは何か	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 よりよい人間関係を築くこと 【思考・判断・表現】 学びの蓄積と経験の積み重ねと言葉による表現を身につける 【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の仕組み、環境及び世界的視野の女性	○	○	○	3
第9章 ワークライフバランス 家庭家族との時間						
第10章 お金の意義 収支の管理と租税	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 よりよい人間関係を築くこと 【思考・判断・表現】 学びの蓄積と経験の積み重ねと言葉による表現を身につける 【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の仕組み、環境及び世界的視野の女性	○	○	○	2
第11章 消費者市民社会 エンカル消費の意味						
3学期 第12章 支えあう社会 自助共助公助、ボランティア活動 多文化共生社会とは	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 よりよい人間関係を築くこと 【思考・判断・表現】 学びの蓄積と経験の積み重ねと言葉による表現を身につける 【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の仕組み、環境及び世界的視野の女性	○	○	○	3
第13章 地域社会を築く 個人・家族・地域社会の創造						
第14～19章 自然、学技術と生命倫理、グ ローバル化、人権と国際平和	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 よりよい人間関係を築くこと 【思考・判断・表現】 学びの蓄積と経験の積み重ねと言葉による表現を身につける 【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の仕組み、環境及び世界的視野の女性	○	○	○	2
						合計
						28